

## 理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長  
海部俊樹

年頭にあたり会員、愛好者の皆様には清々しく新年をお迎えになられたことと存じ、謹んでお慶び申し上げます。

昨年中は当協会の事業運営に格別なご理解、お力添えを賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、協会は平成5年5月27日に文部科学省の認可を得て発足してから、会員4,500名で構成し、大正琴愛好者100万人以上の方々の活動を通じて、人々の多様な学習活動の普及・振興を図るとともに、演奏会・研修会等を開催して大正琴に関する普及向上、人材育成事業等を進め、地域の人々にも漸く法人の認識がされつつあることは会員、関係者各位の弛まぬご活躍によるものと深甚なる敬意を表する次第であります。

今日の我が国におきましては、経済状況が低迷を続ける一方で、急速に少子高齢化が進展していますが、このような時代こそ、心にゆとりとやすらぎを与えてくれる「文化」への希求が一層強くなると思いますし、会員、愛好者の皆様一人ひとりが次の世代の人達にも大正琴ロマンをしっかりと引継いでいただくことを望んでやみません。

さいわいにも今春からは学習指導要領も改正され、教育現場では大正琴を導入しようとしている情報もあります。しかし、指導体制の整っていない現場の悩みを解消できるのは協会の会員であります皆さんのご尽力に負うところが極めて多くなると存じます。

また、本年は協会設立10周年の節目となり、「創立10周年記念チャリティーコンサート」の実施計画も検討されているようですが、過去10年間の安定した基盤を活かし、将来にわたって大正琴愛好者の裾野が一層広がる演奏会になることを期待してやみません。

終わりに皆様のご多幸と協会の益々の隆昌を祈念申し上げて新年のご挨拶に代えさせていただきます。

# 第18回通常総会議事録

1. 日 時 平成14年12月5日(水)  
開会 午後1時00分  
閉会 午後2時15分

2. 場 所 東京都港区南青山4-17-58  
ホテルプロラシオン青山

3. 出席状況 会員の総数 4,500名  
出席会員数 4,051名(委任状含む)

## 4. 議事の概要

### (1) 開会

定刻に司会者の組織委員長奈須忠信常務理事が挨拶。企画委員長岩間昌一常務理事が開会を宣言。

### (2) 理事長挨拶

理事長海部俊樹氏。

### (3) 議長選出

司会者が、議長選出方法を議場に語ったところ司会者一任の声あり。よって、副理事長加藤英也氏を本総会の議長としたい旨語ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し議長となり挨拶をした。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在数の4分の3以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。

### (4) 議事録署名人名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人名人2名の選出について語ったところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、理事平野芳男氏及び同北林篤氏を指名し、これを議場に語ったところ、全員異議なく承認した。

被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

## 5. 議事

### 第1号議案 平成13年度

収支予算執行状況報告に関する件  
議長が、事務局長笹倉辰行氏に本件議案の説明を求めた。

笹倉辰行氏は、予め配布した資料をもとに収支予算執行状況(平成13年4月1日から同年9月30日まで)について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、本件を了した。

### 第2号議案 平成13年度

収支補正予算案承認に関する件  
議長が、事務局長笹倉辰行氏に本件議案の説明を求めた。

笹倉辰行氏は、予め配布した資料をもとに平成13年度収支補正予算案を詳しく説明し

た。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を語ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

第3号議案 平成14年度事業計画案承認に関する件  
議長が、事業委員長御室泰常務理事に本件議案の説明を求めた。

御室泰氏は、予め配布した資料をもとに平成14年度事業計画案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

第4号議案 平成14年度収支予算案承認に関する件  
議長が、事務局長笹倉辰行氏に本件議案の説明を求めた。

笹倉辰行氏は、予め配布した資料をもとに平成14年度収支予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

第5号議案 理事1名選任に関する件

議長が、総務委員長北林豊常務理事に本件議案の説明を求めた。

北林豊氏は、本年8月6日に急逝された理事青木正久氏の後任理事を選任する必要があること及び下記候補者を選任したい旨並びに同候補者の略歴を述べた。

議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

なお、被選任者は、その就任を承諾し、就任挨拶をした。

静岡県磐田市中泉364番地1

理事 竹山 裕

## 6. 閉会

以上をもって、社団法人大正琴協会第18回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、岩間昌一常務理事が開会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人名人は次に署名押印する。

平成13年12月5日

社団法人大正琴協会 第18回通常総会

議 長	加藤 英也	印
議事録署名人名人	平野 芳男	印
同	北林 篤	印

# 平成14年度事業計画（主要事業）

## 1. 生涯学習に関する普及・啓発活動

### (1) 全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

- 日時：平成14年10月13日（日）
- 場所：石川県金沢市（新年度になって開催県から発表される）
- 趣旨：人々の生涯学習に対する意欲を高めるとともに、人々の学習活動への参加を促進するために開催される。

### (2) 体験学習・見本市への参加

- 日時：平成14年10月10日（木）～10月14日（月）の5日間
- 場所：石川県金沢市内
- 趣旨：大正琴音楽を通して生涯学習の普及・振興を図るため、期間中は主幹担当の流派の指導者によるデモ演奏をしながら、来訪する人々に大正琴の演奏・技法を体験していただくとともに、協会の加盟している流派の楽器の展示・PRをする。

## 2. 生涯学習に関する各種講座、講演会等の開催

### (1) 協会主催の講座、講演会（中央事業）

教養講座または、文化講演会を年に2回開催し、学習機会の提供を図る。

### (2) 地域における各種講座、講演会の開催等への援助（地方事業への助成）

都道府県レベルの大正琴関係団体、及び愛好者グループ等が、生涯学習に関する講座、講演会等を開催した場合に応分の費用を助成する。

## 3. 大正琴演奏会の開催（中央事業）

本年度は協会創立10周年の節目を迎えることとなり、従来の定期演奏会の実施規模を拡大し、全国ネットのテレビ放映を企画、発信します。（詳細は別記の通り）

- 日時：平成15年2月14日（金）～2月16日（日）の3日間

- 場所：名古屋市民会館大ホール

名古屋市中区金山1丁目5番1号 TEL 052-331-2141

## 4. 調査研究事業

### (1) 中学校における大正琴の普及

全国中学校11,000余校のうち平成13年度に5,000余校に対し、「大正琴音楽に対するアンケート」を実施し、回答をいただいた1,700余校の関心度、興味について分類、分析をしながら教育現場に対し、大正琴音楽の普及・振興を図る。

## 5. 出版物の刊行

### (1) 機関誌「協会だより」19号、20号の発行

### (2) パンフレット「協会案内」の作成

# 平成14年収支予算書

平成14年4月1日から平成15年3月31日

## 1. 収入の部

- |              |             |
|--------------|-------------|
| (1) 基本財産運用収入 | 50,000円     |
| (2) 会費・入会金収入 | 16,500,000円 |
| (3) 事業収支     | 44,500,000円 |
| (4) 補助金収入    | 0円          |
| (5) 雑収入      | 500,000円    |

当期収入合計 61,550,000円

前期収支繰越差額 6,059,379円

収入合計 67,609,379円

## 1. 支出の部

- |         |             |
|---------|-------------|
| (1) 事業費 | 49,810,000円 |
| (2) 管理費 | 16,890,000円 |
| (3) 予備費 | 500,000円    |

当期支出合計 67,200,000円

次期繰越収支差額 409,379円

# 第13回全国生涯学習フェスティバル 大正琴合同演奏会 終了報告

美しい紅葉の季節を間近にした平成13年10月12日(金)、山形県県民会館において第13回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会を盛大に開催することができました。

東北地方での協会主催の行事は今回が初めてということもあって、山形県並びに隣接県は勿論のこと、岩手県や遠くは長野県、東京都からもご出演いただきました。特に、地元山形県の大正琴愛好者の皆様には格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、29グループ、1,431名の出場は前年度までの記録更新ということになりました。このことは、年々、地域における生涯学習の普及活動が浸透しつつある証左でもあり、主催担当者としてこの上もない喜びであります。

開場直前から降り出した雨で一般の入場者は出端をくじかれたことになりましたが、それでも予定していた席の80%以上を埋め、終演まで豊かな音色を堪能いただけたことと思います。一方、山形県内各地に点在する温泉郷は大変魅力的で再びの誘いを強く受けましたし、大正琴音楽が21世紀のロマンに挑む地元山形県の豊かな人情味に溶け込む要素のあることを痛感致しました。

終わりに、大正琴合同演奏会を通して多様な学習体験ができ、無事終了できましたことをご報告申し上げるとともに、終始、微々細々にわたり安全にスムーズに見守って下さった関係者の皆さんに心より感謝申し上げ報告に代えさせていただきます。

第13回全国生涯学習フェスティバル

大正琴合同演奏会 実行委員長

琴城流大正琴振興会 会長 鈴木 萬司



# 講演会

平成13年12月5日(水) ホテルフロラシオン青山に於いて、講演会を開催致しました。今回は、聖徳大学教授であり、当協会理事であります「福留 強」先生を講師としてお迎えいたしました。

演目：「文化によるまちづくりの動向」 講師：「福留 強」先生

## 1. 生涯学習とまちづくり

★生涯学習を深めてゆくとボランティア、まちづくりにつながる。生涯学習活動とまちづくりは一致する文化活動である。

## 2. 生涯学習とは

★生涯学習は、いつでも、どこでも、誰もが、何度でも学ぶことができる。

★生涯学習の課題は、自己の充実つまり生きがいを持つことです。

周囲と何らかの関わりを持ち、何らかの役に立っていることを実感し、自己の存在を感じることです。これは、老若男女に関わらず全ての人々にあてはまる。例えば、高齢者については今まで培った知識を生かす、周囲が認め、そしてほめる。子供については、学芸、スポーツ、親切、努力、奉仕、何でもよいので地域に貢献したことをほめる。すると、一人一人が自信を持つようになり、生きがいが生まれる。

## 3. 活気あるまちづくり

★自分自身を高めるため努力する。高めた人々が多く存在する町は文化的魅力が出てくる。文化的に魅力ある町には、多くの人も訪れ、人々が出会うことによってお互い刺激しあい更に高まる。それが地域の活性化につながり、人々の生活も豊かになる。市民が主役の活動である。

★市民が主役で出来そうな町づくりの例として

(1) 長野泰阜村では「泰阜いなか大学」(村全体を大学とたとえ、活気ある町づくりをめざす。)

(2) 高知県大方町では「砂浜美術館」(自然の資源を生かして文化を高める。)

(3) 北海道女満別町では「花と音楽の町宣言」

★何度でもやり直しできる社会づくりをめざし、学習機会を与える。

★一人一人が目ざされる、光があたる社会にする。

★子供を主役にする活動機会をつくる。

## 4. 学習成果の活用

★学習によって習得した成果を披露したり、伝えたりする。共通の情報を持つことによりコミュニティが広がる。知縁による人間関係が始まる。

★大正琴に置き換えると、技術を習得するだけでなく、演奏会の開催、鑑賞等により異世代・地域間の交流を目指す。ネットワークを通して大正琴の輪を広げ「大正琴のまちづくり」も夢ではないでしょう。

★大正琴は教育につながる要素、市民活動につながる要素、人々の心につながる要素をかねそなえている。指導者である会員の皆様のお力をお借りしてますます発展させてゆきましょう。

※この講演会の録音テープがございます。ご希望の方は「ご住所・お名前」を明記の上録音用テープ(120分)を事務局までお送り下さい。できあがり次第お送りいたします。



## 創立10周年記念事業の企画・概要

- タイトル
- テーマ
- 目的

「社団法人大正琴協会創立10周年記念チャリティーコンサート」

「フォーエバーグリーン～未来の子供たちへ～」

会員及び大正琴愛好者が、大正琴の演奏活動を通して、演奏技術、音楽レベルの向上を図りつつ、広く地域社会における生涯学習の普及・振興に寄与しているところであります。

創立以来、法人の活動、運営の主旨に賛同した各流会派の指導者、講師等4,500名で構成され、その愛好者は常に100万人以上を擁し“心のふれあい”“心の豊かさ”“生きがい”を感じながら活躍してきました。

大正琴は大正初期に名古屋市在住の月琴奏者森田吾郎氏によって創作された楽器であり、度重なる改作、改良を経て、現在の木質材料を主材料とした楽器となりました。

近年、国内外を問わず、自然環境の保全、緑化推進の基本理念が地球規模で論ぜられている背景もあり、微力ではありますが緑の再生に貢献するため、大正琴愛好者の意識高揚と技術向上を図るとともに、参加者の総意として〈今、私達に出来ること……緑の再生〉をテーマに植樹を通じて社会貢献につながるキャンペーンを実施するものであります。

- 主催
- 参加流会派
- 応募内容

社団法人 大正琴協会

琴修会、琴城流、琴心流、琴生流、琴伝流

- (1) 第1日目 各流会派代表グループによる演奏  
(全国テレビ放映収録)
- (2) 第2日目 ①各流会派指導者グループによる演奏  
②近県で学ぶ子供グループによる演奏  
③一般会員グループによる演奏
- (3) 第3日目 一般会員グループによる演奏

## トピックス

第13回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア山形2001」が平成13年10月11日から15日まで山形市など県内6市で開催されました。

初日には秋篠宮同妃両殿下をお迎えして、山形市県民会館で総合開会式が行われ、翌2日目には、メインの生涯学習見本市をご視察されました。

全国生涯学習フェスティバルに皇室からのご視察は山形大会が初めてです。これを機会に生涯学習の普及・振興のきずなが一層強まることを期待致します。



## 協会理事の異動

### ★青木正久理事急逝

平成5年5月に社団法人大正琴協会を設立して以来、8年間の在籍期間中、理事として会務運営にご尽力いただきました青木正久氏は平成13年8月6日、任期半ばで心不全のため急逝されました。おくれ馳せながら会員の皆さんにお知らせするとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。(享年78歳)

### ☆新理事の選任

平成13年12月5日の第18回通常総会におきまして静岡県ご出身の参議院議員竹山裕（たけやまゆたか）氏が協会理事に選任されました。

### 【プロフィール】

静岡県磐田市のご出身で、参議院議員4回の当選を果たして現在に至っておりますが、元科学技術庁長官の要職も歴任されました。今後、協会発展のためご尽力賜りますようご期待申し上げます。

## 会員たより

琴修会 末信あかね

### 「輪の広がりを願う」

この2、3年で「全国生涯学習フェスティバル」「国民文化祭」「ねんりんピック」といわば国民的行事を体験することができました。私たち大正琴の愛好家は、演奏へ向けての練習は勿論のこと、自分のみならず家族の健康にも留意して、ベストな状態で「その日」を迎えるよう努力します。音楽に取り組む真摯な姿に周りの方々は、「何か」を受け止めてくださるのでしょうか。演奏者と聴衆が一体となった充実感を味わうことができました。

昨年のアメリカ同時多発テロを受けて、日本が誇るあのミュージシャン小沢征爾氏と坂本龍一氏は、「音楽がテロに対して何ができるか」と悩んだ。自分たちが一生懸命演奏してふと気付いてみると、聴衆が涙を流して真剣に聴いている。そうだ、「生きる勇気を持ってくれたのだ」と思うと、音楽をやっていて本当によかった。」と話していました。

上記の「国民的行事」に参加して三代目で大正琴を演奏したこと、ニューヨーク国連本部で演奏会を開催したことも、年輪、国境を越えて何か心に響くものを残すことができたかと確信しています。

これから、大正琴と他の楽器との融合ということを視野におき、大正琴の音色の素晴らしさを生かした活動を進めていくと、さらなる大正琴音楽の広がりが可能になるとと思いますが、如何でしょうか。



## (社)大正琴協会主要事業予定

### ☆第10回大正琴定期演奏会

- 日 時 平成14年2月9日(土)～2月10日(日)
- 会 場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール(大ホール)  
大津市打出浜15番1号  
TEL 077-523-7133
- 出場規模 講師・指導者演奏 6グループ 72名  
子供演奏 5グループ 67名  
一般会員演奏 37グループ 2,288名

### ☆平成13年度指導者研修会

- 日 時 平成14年3月13日(水) 13時30分～15時00分
- 会 場 大阪ガーデンパレス  
大阪市淀川区西宮原1丁目3番35号
- 講 師 京都学園大学教授 今西幸藏先生

### ☆第19回通常総会

- 日 時 平成14年6月5日(水)
- 会 場 名古屋ガーデンパレス

### ☆第14回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

- 日 時 平成14年10月13日(日)
- 会 場 石川県金沢市(開場の決定は4月以降に主催者側で発表されます)
- 大会テーマ 「学びごころ 伝えよう かがやく あすへ世界へ」

### ☆第20回通常総会

- 日 時 平成14年12月4日(水)
- 会 場 大阪市内 会場未定

### ☆10周年記念定期演奏会

- 日 時 平成15年2月14日(金)～2月16日(日)の3日間
- 会 場 名古屋市民会館(大ホール)
- 主 旨 別記のとおり

## 編集後記

干支の壬午年。「牝馬の貞」といわれるように馬は素直で忍耐強く人にも慣れ、古くから乗用、耕作、運搬等に役立つ貴重な存在で、家族同様に母屋の一角に飼われた時代もありました。

意気投合する場合に「馬が合う」と相性の良さを表現するかと思えば、陰口で「馬の骨」とか「馬太郎」「馬の耳に念仏」と罵られることも……。

社団法人大正琴協会も創立10周年の節目にふさわしいコンサートの企画をする一方、全国中学校に大正琴の普及について触手を伸ばすなど、大車輪の年となると思います。教育現場では大正琴の指導者の派遣を待っていらっしゃると思います。お互いに働き過ぎたり鯨飲馬食とならないよう健康で健全に頑張りましょう。